

■立候補の決意

私が「緑の党」の存在を初めて知ったのは8年程前。当時、日本はアメリカのイラク攻撃に加担し、有事法制などの戦争法案を次々と成立させていました。国民不在で、一部の政治家、官僚、経済界の人々に決定権が委ねられている実態は、福島原発事故への政府の対応に象徴されるように、8年経った現在も全く変わっていません。

私はこの間「日本になんとしても緑の党を誕生させたい」その一心でこれまでみなさんと共に活動を重ねてきました。同時に「緑の党の理念を身近な基礎自治体から実現したい」との思いから、5年前から杉並区議会議員として活動してきました。当選当初から、原発に依存しないエネルギー社会をつくることをめざし、再生可能エネルギーや環境配慮の施策を促進させてきました。また、生活困窮者に対する支援にも力を入れ、湯浅誠さん(NPO法人「もやい」理事)が提唱したパーソナルサポート(個別支援)サービスの制度を実現することもできました。生活保護の受給者数は杉並区においても10年前と比較して2倍以上に膨れ上がっています。特に子どもの貧困、母子家庭は深刻であり、国における「生きるための保障」が不十分であることを痛切に感じてきました。他にも、前区長時代は、偏ったイデオロギーに基づく教育基本条例の制定を阻止し、教科書採択では「つくる会」教科書を薦めた教育委員の任命には反対を表明。行政委員の報酬問題など行政の無駄遣いを追及した質問は、新聞等で取り上げられました。

これらの問題は全て国政と連動しています。

現在、既成政党である民主党や自民党、第三極として登場したみんなの党や日本維新の会は、「自立する個人」を理念に掲げるなど、共通して、自己責任論の立場を明確にしています。社会保障費削減、生活保護の有期化、解雇規制の緩和など新自由主義路線を加速させると同時に、憲法9条の「改正」を志向し、日米同盟を基軸とした軍事力の強化をめざしています。今後も経済成長至上主義を押し進める限り、戦争、環境破壊、格差貧困、原発などの問題を絶つ事はできません。

政権交代と3.11を経て、人々の政治への不信は一層高まり、有権者の選択肢が失われています。この時期に緑の党が国政に登場する意義は大変大きく、その責任を果たさねばとの強い思いから、この度立候補を決意いたしました。

私は、将来、必ず緑の党が日本の政治において重要なポジションを占める時がくるものと確信しています。そして、脱原発、平和、公正な社会に向かって世界を牽引していく。そのための礎をつくるのが今の時代を生きる私たちの役割であると考えています。これまで活動してきた市民運動と区議会議員の経験を生かし、緑の党の政策実現に向けて全力を尽くします。ご支持ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

すぐろ奈緒

■ 政策(とくに関心の高い政策、実現したい政策など)

【脱原発】全ての原発を即時廃止し、省エネと再生可能エネルギーを促進する

- ・ 地域経済につながる分散型のエネルギー創出を進める
- ・ 福島原発事故に関わる避難の権利を保障し、放射線被ばく者および被ばく労働者に対する医療と健康管理を徹底する
- ・ 日本の原発を即時廃止し、国際的な原発の安全保障体制をつくる
- ・ 高レベル性廃棄物の安全な最終処分を世界共通の課題と位置づけ、グローバルグリーンズを生かした国際的な枠組みをつくり、戦略を検討する。

【子ども・教育】子どもの権利を守り、子どもの自主性を尊重する教育をめざす

- ・ 「子どもの貧困」を解消するための福祉・社会制度の見直しをはかる
- ・ いじめや虐待など暴力から子どもを守るしくみ(相談体制、CAP 導入など)を整備する
- ・ 大人が一方的に押し付ける教育ではなく、子どもが自ら学ぶ教育へ移行する。また、国が認める学校以外にも、多様な教育の場を認め、経済的な負担なく選択できる新たな制度を創る

【平和】非暴力・平和の姿勢を示し、世界に発信

- ・ 憲法9条を堅持し、軍縮を進める
- ・ 北東アジアにおける各国の相互理解と信頼を深める
- ・ 沖縄の在日米軍基地の返還を求め、新基地建設は認めない

■プロフィール

1979年 誕生。幼少期は東京都足立区で育つ。7歳～栃木市へ

1993年 14歳:栃木市の水源地で産業廃棄物処分場計画が持ち上がり、学校や地域で署名活動に奔走。最終的に計画は撤回。

2002年～ イラク反戦「WORLD PEACE NOW」に参加。以降、有事法制など戦争法案に反対する活動を継続。劣化ウラン禁止(NO DU)キャンペーンにも取り組む。脱原発活動を開始。

2003年 東洋大学法学部卒業 在学中は、少年法から子どもの問題を考える「子どもと法21」に参加し、人権や教育問題を学ぶ。

2004年「教科書ネット21」主催の日韓交流キャンプに参加し、ナムムの家やソデムン刑務所を訪れる。また、中国残留邦人、ヒロシマ・ナガサキ被爆者、元日本兵、ひめゆり部隊など様々な戦争体験者と出会い戦争の実態と戦後補償問題を学ぶ。

2004年～2006年 参議院選挙で「みどりの会議」小林一朗氏を支援。

「みどりのテーブル」に入会

NGO「フォーラム平和・人権・環境」勤務(辺野古基地問題や六ヶ所村再処理工場、横須賀の原子力空母など、各地の平和や原発関連の市民運動と連携して活動) 週1日は障害者ヘルパーの仕事も兼務し、担当していた方と一緒に「障害者自立支援法」について学び、法制化に反対するデモや集会にも参加。

2004～2007年「教育基本法の改悪を止めよう！全国連絡会」運営委員をつとめる

2005年2月「アジア太平洋みどりの京都会議」参加

2007年 杉並区議会議員 当選

2008年 「グローバルグリーンズ第二回 ブラジル・サンパウロ」参加

コスタリカ共和国を視察。人権・平和・環境への先進的な取り組みを学ぶ。

2010年 「みどりの未来」共同代表に就任

2011年 杉並区議会議員 2期目当選

2012年 「緑の党」共同代表に就任

■健康状態:特に問題はありません。